

保・幼・小接続カリキュラム参考資料③ 清瀬市立清瀬第七小学校

小学校就学後(4月から5月)の事例

生活	○5時間授業の場合は、午前8時30分に登校、8時45分に授業開始、12時20分から午後1時まで給食で、2時45分に下校となっている ○週の流れは、月曜日は全校朝会、水曜日は全校読書、金曜日は児童集会となっている ○生活の基本的なルールは、生活科や道徳の授業、学級活動の中で指導している ・登下校の安全、くつばこ、ロッカー、水道、トイレの使い方、廊下の歩き方等 ○1年生が自分でできるようになるまで、入学当初は6年生が手伝いをしている ・登校時 昇降口にて くつの出し入れ、傘のしまい方 等 ・始業前 教室にて 朝の準備、トイレ、水飲み 等 (午前8時30分には着席、6年生による読み聞かせ、手遊び、ゲーム、お絵かき 等) ・20分休み 6年生と一緒に校庭や教室で遊びながら、七小の遊びの約束を教えてもらう ○給食については、自分で準備し、しっかり食べ、自分で片付けられるように指導している ・開始時は時間を多めにとり(30分)、徐々に時間を意識して(20分)食べられるように ・「食べさせてうれしい」と思えるように ・苦手なものも少しはチャレンジできるように ・「少なめにしてください」が言えるように ・「おいしい」と思えるように ○気を付けている習慣 ・決まった時間(5分休み、休み時間)にトイレへ行く ・次の授業の準備をしてから休み時間にする
関わり	○自分から挨拶できるよう、教師が率先して声かけしている ・特に意識させたい言葉 「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」「はい」 ・朝は教室で迎えられるようにし、言えたときには大いにほめる ○友達とトラブルがあった時は、言葉で伝え合うことを大切にし、許し合いを学ばせている ・相手の話を聞く ・自分のいけないところに気付く ・言葉で「ごめんなさい」が言う ○伝え合いや関わり合いの場を一日の生活の中で多く設定している ・朝の会では日直がスピーチをする ・帰りの会では楽しかったことを伝え合う ・友達と一緒に当番活動、係活動をする ・学級活動で集団遊びを楽しむ
学び	○文字の学習では、ゆっくり丁寧に書くことを大切に指導している ・書きやすい字から学び始める(「く」「へ」「し」「つ」) ・なぞり書き、言葉遊び、言葉作りなど組み入れ興味をもたせる ・鉛筆の持ち方、姿勢を意識させる ○運動会では、特色ある演目と練習過程を大切にしている ・1・2年合同でダンスに挑戦させる ・学び合い、教え合いにより練習を進める(2年生が1年生に教える、クラス内で教え合う) ○各教科学習の中では関わりを重視して指導している ・全教科の中でペア遊び、ペア学習、グループ遊び、グループ学習、鬼遊び等の活動を取り入れ、楽しく学ぶ工夫をする
家庭との連携	○保護者を安心させるために、密な連絡と学年内での共通対応を心がけている ・保護者が不安にならないように、連絡帳、電話等で密に連絡を取り合う ・児童の問題や親の支援の仕方については、担任だけで考えるのではなく、学年で相談し合い、よりよい方法を考え、共通理解のもと対処する ○保護者の意識を育てるために、子供と親を育てるように心がけている ・保護者の意識を高めるため、入学期に必要なことを保護者会で具体的に伝える ・「あいさつがしっかりできる子」を入学期(4月～6月)のめあてとして、家庭の協力を得て「にこにこことばカード」に取り組む(「いってきます」「いってらっしゃい」「ただいま」「おかえりなさい」)